

令和2年度 第4回千城台地区学校跡施設利活用検討委員会 議事概要

1 開催日時 令和2年10月22日(木) 19:00～20:40

2 開催場所 千城台公民館 2階 ホール

3 出席者

(1) 委員 (12名)

角田会長 (千葉市第24地区町内自治会連絡協議会)
谷野副会長 (千葉市第24地区町内自治会連絡協議会)
谷口副会長 (千葉市第24地区町内自治会連絡協議会)
松本副会長 (千葉市第24地区町内自治会連絡協議会)
多田委員 (千城台南町自治会)
太田委員 (千城台西町自治会)
白鳥委員 (千城台北一丁目自治会)
菊次委員 (千葉市社会福祉協議会 御成台・千城台西北地区部会)
村田委員 (千城台南中学校区青少年育成委員会)
星野委員 (千城台西中学校区青少年育成委員会)
室谷委員 (千葉市第408地区民生委員児童委員協議会会長)
飯島委員 (千葉市第409地区民生委員児童委員協議会会長)

(2) 千葉市

安部中央図書館長
志保澤資産経営課長、細野主査、関口主任主事

4 千城台公民館について

5 若葉図書館等について

6 今後の進め方(次回開催日時・場所等について)

7 議事の概要

(1) 開会

事務局 資料の確認、新型コロナウイルス感染症対策(体調の確認、マスクの着用、換気の励行など)、議事概要の作成・HP公表、記録用の録音について説明の後、進行を角田会長にお願いした。

角田会長 本日はお忙しい中、お集りいただきありがとうございます。
只今から、第4回千城台学校跡施設利活用検討委員会を開催いたします。
本日、黒宮委員、宇山委員がご都合により欠席すると事前に連絡が入っております。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会議の時間を短縮して、20時40分には、皆さま、この部屋から退室できる

ようにしたいと考えておりますので、ご協力ください。

それでは、次第に沿って進行していきます。

(2) 千城台公民館についてについて

角田会長

はじめに、「千城台公民館について」です。

先日、委員間で会議の進め方等について共通認識を持つために行った会議において、千城台公民館について話が出ましたので、この場でも情報共有として報告いたします。

千城台公民館について、各委員が意見を述べ、私からも意見を述べるとともに、避難所の状況について、情報提供させて頂きました。現在、この地域には9つの避難所があります。今回の学校統廃合により、2つの避難所がなくなり、7つとなります。その状況と今後の避難所の自治会ごとの割り当てについて、第24地区の自治会長会議に説明しました。そして、各自治会長から、7つの避難所による運営になることについて、了解を得ているところです。

ただ、そうすると、東南地域の避難所の数が2つとなり、バランスが悪くなってしまう。それなので、避難所としても活用できる公民館を、千城台南小学校跡施設に整備してもらいたいと私は考えております。

また、現在、72の団体がそれぞれ月2回程度、公民館を利用しています。それ以外の団体も、この公民館を利用しています。公民館を現地で建替えた場合、そうした団体が、2～3年程度、活動する場所を失ってしまいます。そういった状況についても、私の方から、情報提供させて頂きました。

他に、公民館・図書館の跡地の取扱いについて、仮移転した場合の費用について質問が出ました。質問事項については、市の方に投げかけておりますので、ご説明をお願いいたします。図書館については、本日、中央図書館長にご出席頂いておりますので、その際に、ご説明をお願いします。

事務局

公民館・図書館が学校跡施設に移転した場合の現在の跡地の取扱いについて、今のコミュニティセンターとホールの規模が現行のまま続くと想定した場合ですが、売却した場合、将来、建替えなどを検討する場合の土地がなくなってしまう、新たに用地を確保しなくてはいけなくなるので、現在の跡地については、現行の状態が続くと想定した場合、売却は考えておりません。20年、30年先の状況がどうなるかまではわかりませんが、現在の施設が必要であるならば、売却はするべきではないという考え方はあります。

仮移転した場合の費用については、学校の1階と2階を使うという仮定をして、また、仮移転とはいえ、市として、エレベーターやバリアフリー対応など、それなりの整備が必要という考えのもと試算しておりますので、大体3億円程度かかるという試算をしております。

そういった状況を踏まえて、みなさまでご議論いただければと思います。以上でございます。

白鳥委員

まじめなものを整備する必要はなく、そのまま使えば、そんなにお金はかからないのではないか。仮設なのだから、ちゃんとしたものを整備する必要はないと思うのですが。

角田会長

行政としてやるのだから、立場上、それなりのことをやらなければいけないということですよ。

仮に跡地になった場合の売却については、いかがですか。

室谷委員

それについては、とても不安があります。

コミュニティセンターは、平成に入ってから建てられたものなので、それなりの改修工事をしていけば、20年、30年、まだまだ持つのではないかと思います。

公民館については、避難所の問題などを考えると賛成はできると思うのですが、図書館については、跡地を売らないという確約がないと、とても不安があります。

菊次委員

コミュニティセンターとホールを必ずここで建替えるという確約がないといけないという話ではなかったか。

角田会長

公民館と図書館とそれぞれひとつずつ話をします。いったん、公民館の話に戻しましょう。

公民館についての、私の委員としての意見は、第3回の委員会にて述べさせて頂きました。

避難所や現在の利用者などの状況を踏まえて、みなさんの意見を伺いたい。

多田委員

私としては、費用と時間の節減ということで、公民館を南小に移転することは妥当だと思います。図書館とセットかどうかは、本日の中央図書館長のお話を聞いてからだと思います。

太田委員

避難所のバランスや現在の利用者のことを考えると、公民館の南小への移転はやむなしと思います。

公民館を利用する方は車の方が多いと思うので、駐車場も広めにとってもらえればよいと思います。

白鳥委員

お金がかかるのであれば仕方ないと思います。

あと気がかりなのは、この場に公民館・図書館から離れた自治会の代表

が来ていないことに疑問はあります。

室谷委員

遠いところの自治会については、車で移動するので、現在と変わらないのではないかと思います。

ただ、バスのアクセスについては、千城台駅を基点にしていると思うので影響はあるかとは思いますが、バスのルートの問題だと思いますので、公民館については、大賛成というわけではございませんが、賛成したいと思います。

飯島委員

南小がなくなって、避難所が1つ減るということが大きいと思います。それを補完する意味での公民館ということは、メリットがあると思います。

星野委員

公民館だけではなく、仮に図書館が南小に行った場合、和陽園や保育所と合わせて、駐車場が確保できるのであれば、私はよいと思います。移転した先も、移転した跡についても、心配なのは、駐車場の問題です。

村田委員

私は当初から公民館と図書館がセットで移転することに賛成しております。昨今の状況で、育成委員会全員に意見を聞くということとはできていないのですが、先日、育成委員会の事務局メンバーに意見を聞いた時は、概ね、公民館、図書館が南小に移転することは賛成していました。

駐車場の件については、市への回答書に要望事項として、駐車場を広めにとってくださいと記載すればよいと思います。

菊次委員

公民館はやむなしだと思います。

松本副会長

賛成です。

谷野副会長

賛成です。

谷口副会長

賛成です。

角田会長

ひとまわり、みなさんの意見を伺うと、公民館については、南小への移転・建替えという市の活用素案については、概ね賛成、やむなしというところでしょうか。

本日欠席している黒宮委員、宇山委員からも、賛成ということ伺っているのですが、ほぼ全員の方が、公民館については、南小への移転・建替えで了承を頂いたということによろしいですか。

委員

了承

書籍と紙の書籍が並存していく時期があると思います。

太田委員 ある程度ね。

安部中央図書館長 また、特に小さいお子さん、乳幼児については、電子ではなく、紙の本に触れる、仕掛け本や立体本、紙芝居などもありますので、紙の書籍として用意する必要があると思います。

あと、図書館については、居場所でもあるということが言えると思います。中央図書館については、毎日2,000人の利用者がいて、朝、行列にもなっている状況でございます。それこそ、図書館に来ることを楽しみにしていて、半日くらい過ごす人もいらっしゃいます。

ですから、電子化は否定できないですが、知の場所としての機能も必要と考えています。

太田委員 否定できないではなく、電子化をしなければならない。今では、警察もハンコを使っていない。世界では何をしているかということ、インターネットが使えない人を図書館に集めて、教育して、電子書籍化への準備を進めている。この10年くらいは過渡期であり、このコロナ騒ぎによって電子化は加速していく。

私の孫は5歳ですが、iPadを使って絵を書いています。乳幼児には本は必要ですが、今、知の場所とおっしゃいましたが、何もそれは図書館でなくてもよい。公民館でもよいし、もっと言えば、コミュニティセンターの一部であってもよいと思います。

ただ、やはり館長さんご説明の中でご発言がありましたが、駅の近くは便利ですよ。やっぱり図書館というのは知の場所であって、人が集まる場所になくってはならない。公民館でなく、商業施設など人の動線にある必要があります。

書籍の電子化も進み、本屋もなくなってきて、新聞を購読する人も減ってきている。そういう新聞の購読の場所として図書館を使ってはいけないと思います。知というのはそういう意味ではない。

さきほどの説明にもありましたが、利便性の高い場所へ図書の取次を行う窓口や返却ポストなどの設置、電子化が進めば、まさにこういう時代がやってくる。今、図書館に来て子ども達が本を読んでいるという時代は、10年後、20年後にはなくなっている。

紙の本自体も、このコロナ騒ぎ、感染症対策として、置かれてしまっている。ますます、紙媒体はなくなってくる。

そういう視点で、館長からお話を聞きたかった。

最後に、館長さんにお伺いしますが、図書館という箱ものは必要ですか。

安部中央図書館長 すべての本が電子書籍になり、すべての方がそれを使える状況にあると

いうことであれば、箱ものは不要だと思います。

しかし、そうでない方もいらっしゃるし、これからはともかく、これまで発行されたものについては、紙として残っていくものもごございますので、箱ものは必要と考えております。

太田委員

1冊の本を電子化するのに、60円程度でできる。新たに本を買う予算をそこに回せば、新刊を含めて、多くの電子書籍が手に入る。

長々と失礼いたしました。みなさんの立ち寄り安い場所に図書館の機能が集まってもらえば、箱ものはいらなくなると思います。

若葉図書館の建替えをするのであれば、相当慎重に検討をする必要があります。

菊次委員

太田委員のおっしゃることもわかるのだが、デジタルとともに、リアルのコミュニケーションも必要だと思います。子どもとか障害者とか外国人とかそういう方が集まることのできる場所が必要だとも書かれています。

そういった中で、館長さんが、若葉図書館をどのようにしたいのかお伺いしたい。

安部中央図書館長

若葉図書館については、公民館とセットで考えることが、相乗効果を期待できると考えております。

公民館に集う方、図書館に集う方が、もう一方の施設を利用するきっかけとなることも期待できますし、例えば、公民館で外国語の学習をする機会がある時は、図書館の図書を活用できることもあるでしょう。ボランティアの方が活動をする時にサポートとなる図書を提供できることもあるでしょうし、公民館と図書館をセットで何かできないかと考えています。

電子化というものも重要と思いますが、リアルの部分というものも、箱ものとして残す必要があると考えています。

室谷委員

今の場所に、コミュニティセンターとホールがありますが、それとセットで考えるということはどうですか。

若葉図書館は区でいえば、中央の図書館と思いますが、それが、南小跡施設という、若干、モノレール駅から離れたところに行ってしまうよりは、私個人としては、駅に近い方で考えたいと思っています。

さきほどの、人の集う場所というお話がありましたが、千城台については、モノレールで来る人のことを考えた方がよいと思います。

太田委員

東京では、民間の本屋と図書館が一緒になっているところがある。そういう意味では、公民館は絶対ではなく、図書館の一部がコミュニティセンターの中にあってもいいだろうし、そういった人の集まる場所の近くにあればよいことで、本の電子化も進むのであれば、図書館という箱ものはいらなく

なる。

白鳥委員

ちょっといいですか。太田委員のお話は、わりとお金持ちの話だと思いません。お金のない人が、学習室として使うのが図書館の役割だと思います。

さきほど、図書館に Wi-Fi も入れていくというお話がありましたように、無料で、情報通信サービスを利用することができる、そういった環境で勉強しようと思う人がいてもいいわけですね。

お金のない人にとっては、図書館という箱ものは必要です。

太田委員

図書館と学習室は別のものになってくるし、20年後の電子化は止まりません。

白鳥委員

家ではできないという人のことも考えてください。ある程度の場所が必要です。

太田委員

ある程度の場所が必要だと思います。ただ、今のような書庫があって、本がたくさんあってというようなスペースは必要なくなると言っているのです。

白鳥委員

デジタルは万能ではないということも重要です。磁気テープは何年もののですか。

太田委員

紙媒体でバックアップする重要性もわかりますが、新たに本を購入する費用も減らしていかなければならない。

角田会長

さきほど、館長さんから電子書籍については、書籍全体の一部とお話がありましたが、10年後、20年後どうなるかはわかりませんよね。

太田委員

分からない中でも、今ある図書館ではなく、将来の図書館を考えていかないと、話が進まないですよ。

谷口副会長

さきほど、駅の近くというお話がありましたが、以前、提供された利用者アンケートの調査では、回答のあった100人のうち、モノレールで若葉図書館を利用した方は1人だった。

室谷委員

それは一週間だからでしょう。

谷口副会長

一週間とはいえ、比率の問題で、データ化された一つの結果でしょう。中央図書館でも、駅から近いと言われていますが、千葉駅から500mあり、みなさん歩いて行っています。若葉図書館が南小跡施設に移ったとして

も、同じような距離です。駅から近隣と言えば近隣の範囲と私は思いますが、実際は、車でくる方が多いという結果でした。

デジタル化が進むというお話があるものの、私は古い人間なので、本は紙で読みたい。そういったそれぞれの方がいる混濁状態でしょうから、それに合ったものにしなければならない。そう考えると、それなりにずっと小さな建物にはならないのではないのでしょうか。

また、学習という意味で人が集まるのはコミュニティセンターではなく公民館でしょう。できれば、図書館は公民館とセットで考えて、将来の変化に対応できるようなものにならないかと思しますので、現在の場所でなければいけないということではないのでしょうか。

みなさん、公民館が南小学校跡施設への移転・建替えていいということであれば、公民館の方が図書館より高齢の方が使っているでしょうから、図書館も南小学校跡施設への移転・建替えていいのではないかと私は思います。

飯島委員

電子書籍というものができたのは、今から20年くらい前だと思います。その時も紙の書籍はなくなると言われていたが、20年経って、さきほどのお話では、電子書籍は書籍全体の一部ということです。技術革新を過信するのはよくないことだと私は思います。

太田委員

今はオンライン授業、オンラインワークだとか、生活様式が変わってきている。そこにこのコロナ騒ぎがあり、これからどんどん進んでいく。これまでの10年間と今後の10年間を同じに考えてはいけません。

飯島委員

たまたまコロナがあっただけで、私は書籍の電子化に疑問を持っている。

太田委員

これまでの歴史を振り返ってみても、産業革命が起きたのはペストがきっかけだった。変化が起きるときは、何かしらのことが起きている。

ただ、今日、明日変わるということではなく、変化のスピードが上がっていくということを私は申し上げている。学校などでも、オンライン授業などがどんどん進んでいくのではないかと。

松本副会長

学校は、思ったほど進んでないですよ。

太田委員

私は、今日、明日のことを言っているのではなく、「千葉市図書館ビジョン2040」でも触れられている電子化について、2040年にはこうなるということを申し上げているのです。

松本副会長

この「千葉市図書館ビジョン2040」も5年ごとに見直すこととなっている。

5年という時間の中で、これから学校の統廃合も進み、跡地活用も考えて

いかなければならない。目の前の5年という期間において、学校跡施設について動いていかなければならない。

太田委員 今は、「千葉市図書館ビジョン2040」の話として申し上げていた。
公民館は南小跡施設に行ってもよいが、図書館は駅前の方がいいのではないかというお話です。

角田会長 区の図書館であるので、将来的に、ここにずっと図書館がある保証もないわけですね。

太田委員 私は、「千葉市図書館ビジョン2040」について、さきほど、中央図書館長からお話があったが、本編にはあるものの書籍の電子化について触れられていなかった。それが問題だと思い、改めて質問をして、将来、図書館という箱ものは必要ですか、という質問をしたのです。

角田会長 今は必要ということでしたよね。

太田委員 「千葉市図書館ビジョン2040」に沿って考えれば、将来は、箱ものは不要になるというお話をされていました。

角田会長 でも、その将来がいつ来るかはわかりませんよね。

室谷委員 さきほど、中央図書館と生涯学習センターのお話がありましたが、私は、図書館は図書館、生涯学習センターは生涯学習センターとそれぞれで利用したことはあり、駅から歩いて行ったこともあるのですが、双方向での連携というのはイメージがなく、たまたま公共施設が一緒に建っているのなにかの印象でした。

ですから、図書館と生涯学習センターが別々にあってもよいのではないかと思います。本を持って、生涯学習センターに行くこともできないのではないですか。

谷口副会長 さきほど中央図書館長は事実を言ったわけですね。

室谷委員 自分では体験していないので、相乗効果についてお伺いしたいです。
それと、さきほどからモノレールのことがお話になっていますが、利用者のアンケートでは、モノレールの利用者は1人でした。ただ、活用素案への意見募集結果では、モノレールから近いので図書館は現地がよいという意見が多数ですね。一週間で100人というのが、多いのか少ないのかはわかりませんが、こちらのアンケートでは、モノレールの利用者は1人。ただ、意見募集結果では、モノレールから近い方がよいと言っている。どちらの信

びょう性が高いと言うつもりではないのですが。

谷口副会長

それは、何件かということと、全体をどのように捉えるかということではないですか。全体からみた比率としては、結果は変わらないのではないですか。

角田会長

室谷委員は、意見募集結果では、図書館はモノレールに近い現地の方がよいという意見が多いから、その方がよいのではないか、ということを行っているのですか。

室谷委員

そういうことではなく、どちらの信ぴょう性が高いと言うつもりではないです。ただ、モノレールがあるということで、利用者は少ない結果でしたが、まちづくりという中で、モノレールがあるということは重要ではないかと思っているのです。

色々と話してしまいましたが、館長さんには、相乗効果についてお伺いしたいです

安部中央図書館長

図書館は図書館、生涯学習センターは生涯学習センターで単独で利用される方がたくさんいるのも承知しております。しかしながら、今年、子どものいじめ問題に関連した本の著者を生涯学習センターのホールに招いてイベントを行った際は、そのイベントの趣旨に関連した本を図書館にコーナーを設置して、イベントの参加者を誘導し、子どもが読書に親しむ、図書館に触れるきっかけとなるようなことも企画しております。

もちろん、すべての方が両方の施設を使うわけではないですが、そういうことを期待し、読書に親しむことのできる環境を整備していきたいと考えておりますし、実際に、他市でも、公民館と図書館を合築で整備する事例もございます。

みなさん、読書はされているように感じますが、読書という環境に触れることのできないお子さんもいらっしゃいますし、本に触れることは、100人の友達を得ることと同じといいます。

ぜひ、千葉市のお子さんには、そういった環境で育ってほしいと思いつながりながら、読書環境を整備していきたいと考えております。

室谷委員

現に、公民館図書室もあるわけです。ただ、ここは拠点としての図書館で、機能がちがいます。公民館図書室というのは、もう少し小さいものをイメージしているので、図書館というものは、また、ちがうものだと思っていました。

今、公民館と図書館は一緒というお話がありますが、それは、私は経済性を優先して出てきている話だと思いますし、経済性を優先するのであれば、そうだとは思いますが、さきほど、館長さんのおっしゃるように相乗効果

があるのであれば、コミュニティセンターの図書室として残ることもできるのではと思います。

ですので、将来、ここでコミュニティセンターを建替えるということを確認できるのであればとは思いますが、今のところ、図書館は現地のままにして欲しいということが、私の意見です。

角田会長

村田委員は、子育て世代の方々に関わる機会をお持ちだと思いますが、そういった方はどのような意見をお持ちかわかれば、お話し頂きたいのですが。

村田委員

育成委員会として申し上げますが、子育て世代の方々には、公民館と図書館をセットで、そして保育所や高齢者の使う和陽園などもありますから、多くの世代の方々が交流できる場所として賛成する意見を持っています。

例えば、複合施設となって、シェアリングエコノミーのような、不要になった衣料品やベビーベッドなどを、これから子どもが生まれる方に譲ったり、地域には、スキルをお持ちの定年退職された方がたくさんいらっしゃいますので、地域の課題解決にそういったスキルを活かせないとか、子どもをちょっと預かって欲しかったりする方とのマッチングをするような、そういう機能ができたらいいなと個人的に思っています。

例えば、エントランスを一緒にして、人の交流する機会を創出するとか、地域の課題を解決できるような施設になって欲しいと思っています。

そういう要望を出せるのであれば、みんなが本当に良いと思える施設を作って、若いお母さん達がたくさん来て、このまちに住みたいなと思ってもらえるような施設になったらよいなと考えています。

ただ、駅の近くに図書館があった方がよいという意見も尊重しなければならないとも思っています。

今、論点は、駅の近くがよいのか、少し離れてもよいのか、ということだと思いますので、よくよく、みんなで話し合っただけで決めればよいのではないかと、私は思います。

角田会長

みなさん、最終的には同じ想いをお持ちだと思います。千城台をよくしたい。将来的に人口が減ってきていますが、千城台に新しい人を呼び込みたい。そこはみんな同じだと思うので、そこに持っていくために、どうしたらよいか考えましょう。

室谷委員

さきほどのお話でいけば、高齢者のためや子どもに読み聞かせをできる機能を図書館の中に、作ることもできるのではないかと思うのですが。

公民館と図書館をそれぞれに建てて、図書館の中にそういった機能を作ることもできますし、でも、経済性といったところでは、公民館と図書館を一緒に作った方がよいとも思いますし、私は、少しコストがかかっても駅前

がよいという意見です。

角田会長

例えば、公民館と図書館をひとつの建物として作った場合に、将来的にどちらかの利用が少なくなることも考えられますよね。そうした場合に、例えば、ひとつの建物を作って、最初は公民館と図書館の面積を半分半分で使いますよ、それで、将来的にどちらかの利用が少なくなったら、そのスペースを、公民館か図書館かのスペースを拡げたり、交流の場とか地域の人が使えスペースにしたり、そういうことができる気がするのですが。

室谷委員

駅前に図書館を残すか、少し離れても、そういった多様な機能を作るのかという2択なのかとは思いますが。

角田会長

図書館ビジョンの話については、本日、こちらから中央図書館長さんをお招きしてお話を伺いましたが、いかがでしたでしょうか。

谷口副会長

答えは出ていないのではないかととは思いますが。

太田委員

だいたいわかりましたので、もうけっこうです。

多田委員

ちょっといいですか。私、南町の地元の人間として、個人的には、世の中色々変わっていくと思いますが、現実、変わってきています。その変化をイメージするものの、箱ものは必要だと思います。あとは図面などがなくイメージはわかりませんが、作り方だと思います。

言いたいことは、将来の施設が、臨機応変に使えという考え方がよいと思いい、本日、お話を聞いて、図書館と公民館はセットであることがよいと思いいました。

あと、駅前についての意見も、まちの中心ですので、もっともだと思いいますが、ただ、駐車場として持っているというのも、考えなければならないのでは、とも思いいます。

角田会長

会議時間も限りがありますので、菊次委員いかがですか。

菊次委員

私は、本日の冒頭にあったコミュニティセンターとホールを必ずここで建替えるという確約ができるかどうかという話をはっきりお聞きしたいと思いいています。もし、それが確約できるのであれば、図書館の移転も仕方ないと思いいているのですが。

角田会長

私の記憶では、委員で話した時に、この公民館と図書館が跡地となり更地となった場合、消防署の跡地が売られてしまったので、この土地は売ることのないよう確約が欲しいという話だったと思いいますが。

多田委員 私の認識も角田会長と同じで、隣の消防署の跡地を売却したことに関連した話だったと思います。

菊次委員 売らないということは前提で、将来、コミュニティセンターとホールを必ずここで建替えるという確約ができるかどうかを伺いたい。

事務局 もう一度、改めてお話しできる範囲で、ご説明させていただきます。
本日、みなさまから色々お話ありましたが、私たちも使われているものを、むやみやたらになくしていこうとは考えておりません。

その上で、公民館・図書館が学校跡施設に移転した場合の現在の跡地の取扱いについて、今のコミュニティセンターとホールの規模が現行のまま続くと想定した場合ですが、売却した場合、将来の建替えなどを検討する場合の土地がなくなってしまう、新たに用地を確保しなくてはいけなくなるので、現在の跡地については、現行の状態が続くと想定した場合、売却は考えておりません。

ただ、20年、30年先の状況がどうなるかまではわかりませんが、その時に、若葉区のホールがこの規模はいらなくなったり、もっと他のものが必要となったりして、土地の形状や必要となる面積は変わるかもしれません。

そういった状況がございますが、今、私たちの言えることは、将来、現在の施設が必要であるならば、売却はするべきではないという考えだけです。

もし、このお話を聞いて、確約がとれないということであれば、市の活用素案に対して賛同できないということ、また、こういった点が不透明だから、判断しかねるということでご意見をお出しになるなら、それはそれでかまいませんので、そういった形で、ご理解頂ければと思います。

角田会長 これが現状の市の考え方ということですね。

菊次委員 もうこれで十分です。20年後の確約なんてとれないですよ。

角田会長 それでは、時間となりましたので、本日はここまでといたします。

(4) 今後の進め方(次回開催日時・場所等について)

角田会長 最後に本日の委員会をまとめます。

本日、みなさま、公民館については、南小への移転・建替えという市の活用素案については、概ね賛成、やむなしというご意見でしたが、次回、用紙などを使って、何かしら形式をとって決議をとりたいと思います

がよろしいですか。

委員 了承

角田会長 それと、次回開催日時・場所についてですが、事前に皆様をお願いしたとおり、11月19日（木）、場所は本日と同じ千城台公民館2階ホール、時間は19時からでお願いしたいが、いかがでしょうか。

委員 了承

角田会長 それでは、次回の開催日時は11月19日（木）19時からでお願いします。事務局においては、会場の確保や市ホームページでの開催案内をお願いします。また、事務局においては、議事概要の作成と市ホームページでの公開をお願いします。

以上で本日の会議は終了いたします。
皆様、本日はおつかれさまでした。